

B-6 地図上の発生現場から分かるニュースブラウザ

三浦 潔

ビジュアルインタフェース研究室

1. はじめに

マイボイスコム株式会社のアンケート[1]によると、ネットでニュースを1日1回以上見るという人の割合は6割を超えている。また、その目的として、「暇つぶしなどで適当に」といった、娯楽としてニュースを見ているという答えも全体の約3割ほどあった。

ニュースサイトには、「ネットならではの機能が少ない」「地域に密着した情報が少ない」といった不満の声もある。そこで、同アンケートで7割以上の人が利用した事があると答えた「Yahoo ニュース」を見たところ、地域ニュースのカテゴリはあっても、都道府県別にニュースを表示させることができるだけであり、それより細かい範囲で表示させることはできなかった。

2. 本研究の提案

娯楽としてニュースを見る際に、地域密着のニュースがあればより楽しめると考える。しかし現状では、細かい地域毎にニュースを載せているサイトはほとんどない。本研究では、娯楽としても楽しめる、地図と連携した地域密着型の新しいニュースサイトを作成した。

3. システム概要

地図上の場所をクリックすることで、その付近で起こったニュースを表示させるニュースサイトの作成を考えた。地図の作成には Google Maps API[2]を用いた。これは、JavaScript で、ユーザーが地図を自由に編集できるプログラムであり、地図上にアイコンを設置したり、フキダシを表示してその中に説明文を書いたりすることができる。本研究ではこのフキダシの中にニュースを表示させた。

フキダシの中にニュースを表示させるには、他のニュースサイトとの連携が必要となるが、連携させるニュースサイトはExciteニュースを用いた。これは、Exciteニュースでは都道府県を指定した後に、更に市区町村の範囲でニュースを見ることができるので、他のニュースサイトよりも細かい地域の範囲でニュースを取得できるからである。

4. ニュース取得プログラムの作成

Perl 言語を使い、Excite ニュースから指定した市町村番号のニュースを取得するプログラムを作成した。例えばExcite ニュースでの神奈川県横浜市中区のニュース一覧の URL は <http://www.excite.co.jp/News/area/prefecture/14/14104> となるが、この URL の「14104」の部分が市町村番号である。

市町村番号「14104」を指定した時のプログラムの実行結果が図1である。続いてこのプログラムを CGI にして、サーバー上にアップロードし、実行結果を Web ブラウザ上で表示できるようにした。

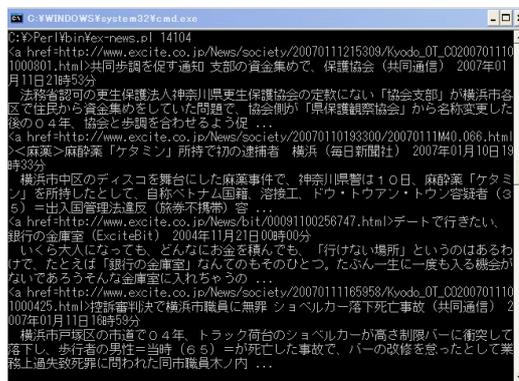


図1 ニュース取得プログラム実行例

5. ニュース表示プログラムの作成

JavaScript を使い、Google Maps API の、地図上のニュース発生地点の各座標上に、マーカーを設置した。マーカーをクリックする事でその上にフキダシを表示させるようにした。Google Maps API では、このフキダシの中に別の Web ページを表示させる事ができるので、このフキダシの中に先ほどの CGI プログラムを、マーカー設置場所の各地名毎に、それぞれの市町村番号を指定してリンクさせた。完成したものが図2である。



図2 ニュース表示例

6. まとめ

実際に使用してみたところ、ニュースを見ると同時に、周りの地名等も目に入ってくるので、娯楽として楽しむとともに、地理の知識も得る事ができると感じた。Google Maps API では、マーカーが大量にあると地図の表示が遅くなる。つまり、ニュースの発生地点を大量に設置すると、その分表示が遅くなる。より快適に利用するためには、今後表示範囲外のマーカーの処理をスキップする方法を検討していく必要がある。

参考文献

- [1]マイボイスコム株式会社: ニュースサイトの利用状況 <http://www.myvoice.co.jp/biz/surveys/8106/index.html>
- [2]稲葉一浩: Google Maps API 徹底活用ガイド, 毎日コミュニケーションズ, 2006年.